

新年のごあいさつ



阿久比町長 竹内啓二

新年明けましておめでとござい
ます。

皆様におかれましては輝ける新春
をお迎えになられたこととお慶び申
し上げます。今年も、ますますのご
多幸とご健勝であられることをお祈
りいたします。

阿久比町は今年町制施行五十五周
年を迎えることができました。昭和
二十八年一月一日に誕生した本町は
人口一万二千五百人ほどの町でした
が、先人の方々のご努力と郷土を愛
する町民皆様のおかげをもちまして
今日の発展を見ることができま
す。今では人口二万五千人となり、発足
時のちょうど二倍となりました。こ
の間には伊勢湾台風(昭和三十四年)
や五一豪雨(昭和五十一年)による

大災害などもありましたが、町民が
一丸となって乗り切ってきました。

愛知用水による安定した水の確保
や、知多半島道路などの開通で名古
屋など主要都市間を結ぶ交通の便が
良くなり、私たちの生活は向上しま
した。また、ホタル飛びかう水田な
ど、緑の多い環境の中で町民の生活
がなされてきました。私たちは、次
世代を受け継ぐ子どもたちのため
も自然と共生できる夢と希望あるま
ちづくりに励まねばなりません。

昨年は英比小学校の体育館を建て
替え、きれいになった体育館で子ど
もたちが元気いっぱい跳ね回って
います。また、個人の方から校内に
ピオトープも寄贈され、子どもたち
は目を輝かせ、そこに集まる阿久比

の小生物とふれあい、自然の持つ素
晴らしさと、共生することの大切さ
を学んでいます。ピオトープの管理
にボランティアの方々を手を挙げて
くださったことにも感謝をしていま
す。町民の方の自主的な参加と行政
との協働によるまちづくりがここ
に見られました。

今後三年間で五つの小中学校の耐
震化を進めます。耐震化には多額な
予算が掛かりますが、子どもたちの
ためにご理解ください。

この春には「子育て支援センター」
をスポーツ村のクラブハウス二階に
立ち上げます。広い芝生の上で幼
子どもと、暖かい日差しをいっばい
に受け、寝そべって遊んであげるこ
とができる場所です。多くの方の利
用を期待します。

中学生までの入院医療費の無料化
など支援努力をしていますが、「日こ
ろの生活習慣を改善して「健康で明
るい家庭」づくりを心掛けていた
きたいと思えます。家庭、学校、地
域、行政が一緒になって、「元気なあ
ぐいっ子」を育てていきましょう。

町内工業団地にも企業進出が続
いていきます。来年度には新規企業が本
社機能を阿久比に移転することに
なっています。住宅開発も順調に進
み、アピタ阿久比店西側には高層住
宅を含む新しい町並みがつくられ
つあります。ほかに宮津団地内
の開発や名鉄による大規模開発など
が進んでいます。

昨年は幸いにも交通事故による死
者は発生しませんでした。現在役場
前の県道を拡幅しての歩道設置や、
オアシス大橋東交差点の改良、坂部
駅踏み切りの歩道の拡幅など、安全
の確保と渋滞解消へ向けて愛知県と
ともに積極的に工事を進めています。
災害に対する備えも怠ってはなり
ません。災害弱者を守る対策を三月
までに作り上げる作業を急いでいま
す。いざ災害が起きれば、行政は迅
速に災害対策本部を立ち上げ救援体
制を取りますが、限界があり、地域
の方の助け合いによる初期災害活動
が明暗を分けます。災害時には互助
の精神を発揮して一杯の水も分け合
うように協力してください。

エスペランス丸山駐車場に埋設中
の飲料水兼用耐震性貯水槽が間もな
く完成します。地震などの災害時に
百トンの飲み水が確保されることに
なり、水については一安心です。

今年こそは明るいニュースの多い
年でありたいものです。ガソリンの
値上がりなど不安材料もありますが、
町が「飛翔」できるように英知を出
し合い乗り切っていきましょう。

歴史・文化・自然に加え都市近郊
の利便性を併せ持った「阿久比町」。
これらを生かしつつ、安全で安心し
て暮らすことのできる安定したさわ
やかな住みよいまちづくりに邁進
いたします。本年もどうぞよろしくお
願い申し上げます。